

しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R7,7,14 No,13

郡築小ホームページ

1学期の間、大変お世話になりました

月日が経つのは早いもので、1学期も残すところ4日となりました。この間、子供たちに大きな事故や怪我がなかったことを何よりも嬉しく思うと共に、保護者や地域の皆様の様々な安全対策に感謝します。

1学期の登校日数は71日間でした。この間、日々の授業はもとより、様々な学校行事や教育活動を行ってきました。その主なものは、

(4月) 始業式・入学式・見知り遠足・交通安全教室・授業参観・学習集会・児童集会
〔運営・体育委員会〕



(5月) 各種健康診断・運動会・避難訓練〔引き渡し訓練〕

(6月) 児童集会〔仲間づくり委員会〕・田植え体験・体力診断テスト、芸術鑑賞会〔広島交響楽団〕

(7月) 人権集会・授業参観、児童集会〔環境委員会〕・終業式 などです。

この学校行事や教育活動、また日々の授業の全てに教育的な目的(意義)がありますので、前向きな態度で参加した子供の伸長は明らかです。今後も前向きに取り組み、自分を大いに磨いてほしいと思います。

終業式の校長講話では、子供たちに次のことを伝えたいと思っています。

「日々の授業や各種学校行事、教育活動に真面目かつ積極的に取り組んだ人は、大きく成長したと思います。がんばった自分を褒めましょう。」

「この『成長するチャンス』はみんなに与えられています。それを『つかむも逃すも自分次第です。』1学期の自分の学校での過ごし方を振り返り、夏休みや2学期に生かしましょう」

1学期間、保護者の皆様や地域の皆様には、本校の教育活動に多大なるご理解とご支援をいただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで学校教育活動を円滑に進めることができました。2学期も変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。また、今年は、記録的な猛暑が続いておりますので、どうぞご自愛ください。

子供に忍び寄るSNSの恐怖

SNS(ソーシャルネットワーク)は、インターネット上で気軽に交流できる大変便利なサービスです。しかし、使い方によっては「犯罪やいじめ、対人トラブル」などを引き起こす危険性も秘めています。特に近年、小・中・高校生のSNS(LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、オンラインゲームアプリなど)に起因する被害が増加傾向にあります。

こうした犯罪やいじめ、対人トラブルからお子様を守る上で、「ご家庭でのルールづくり」や「ペアレンタルコントロールの活用」、「フィルタリングの利用」、そして何よりも「お子様とのコミュニケーション」を大切にしてください。(裏面へ続きます)

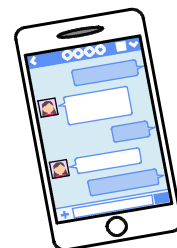


家庭でのルールづくり

「実際の社会でやってはいけないことは、インターネット上でもやってはいけない」ことを教えてください。

【ルールづくりの例】

- *人を傷つけるメールやメッセージなどをしない。また、友達にやり取りを強要しない。
 - *個人情報（名前や顔写真、学校名など）は書き込まない。
 - *利用する場所や時間を決める。
 - *パスワードは親が管理する。
 - *トラブルが起きた時はすぐに保護者に相談する。
- このルールは、成長とともに少しずつ見直していく必要があります。

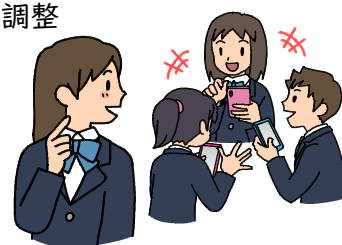


ペアレンタルコントロールの活用

ペアレンタルコントロールは、お子様がスマートフォンやゲーム機などのデジタルデバイスを安全に利用できるように、保護者が設定できる機能のことです。（OS事業者やアプリ開発事業者などからサービスが提供されています）お子様の使用状況に応じて上手く活用されてください。

【ペアレンタルコントロールでできること】

- *スマートフォンやゲーム機などのデジタルデバイスの利用時間や時間帯の調整
- *有害なサイトなどの不適切なコンテンツへのアクセス制限
- *アプリのインストール制限
- *課金制限
- *位置情報の確認
- *お子様のアカウントの保護 など



フィルタリングの利用

不適切な情報や危険な出会いなどを防ぐために、フィルタリングは有効です。お子様が、うっかり（もしくは故意に）危険なサイト（出会い系サイトやアダルトサイト、暴力的な表現のあるサイトなど）にアクセスしないようにコントロールし、閲覧できないようにします。

なお、携帯電話会社では、18歳未満の子供がスマートフォンなどを利用する場合には、フィルタリングサービスについての説明や設定を行っています。子供の年齢や使い方によりレベル設定ができ、利用したいサイト、SNS等の個別設定もできますので、上手に使ってお子様の安全を守ってください。

スマートフォンなどを親子で共用する場合やお子様に貸す場合には、親のスマートフォンなどにもフィルタリングを設定することで、お子様が不適切なコンテンツにアクセスするのを防ぎます。携帯電話会社から提供されているフィルタリングサービスを利用したり、スマートフォンの機能であるスクリーンタイムを活用したりすることで、利用時間やアクセスできるコンテンツを制限できます。

お子様とのコミュニケーションを大切に

日頃からお子様と会話をされ、困ったことや悩んでいることがあれば、すぐに相談できる関係を築かれてください。そして、お子様がSNSでトラブルに巻き込まれた場合、怒らずにまずは話を聞き、一緒に解決策を考えてください。

その他、お子様の安全を守る上で次のことも有効です。

- *SNSのパスワードを定期的に変更し、第三者に知られないように管理する
- *不審なメールやメッセージ、サイトには注意し、個人情報を入力しない
- *セキュリティソフトを導入し、常に最新の状態に保つ

